

シラバスの記載内容について

シラバスは以下の項目に沿って記載されている

- [科 目 名] 開講する授業科目名を記載し英文名を併記した。
- [ナンバリング] 授業科目の教育課程上の位置づけ（どの分野の授業科目か、といった科目の所在地）や単位の取扱い（必修、選択など）等を把握できるよう、ナンバリングを記載した。
- [年 次] 授業科目の履修年次を記載した。
- [単 位 数] 授業科目の単位数を記載した。
- [期 間] 授業科目の開講期間を、前期・前期（前半）・前期（後半）・後期・後期（後半）・通年・集中講義のいずれかで記載した。
- [担 当 者] 当該授業科目の担当者の氏名を記載した。複数担当や非常勤講師が担当する場合は、省略されていることもある。クラス毎の担当者は、授業時間割を参照すること。
- [授業のねらい・概要] 授業の目標・目的を十分に理解し、その達成に向けて努力することにより、積極的に授業に取り組むことのできるよう、授業目標・目的を中心に授業の概要、授業形態等を記載した。ここから、学生諸君にとっての学修の意義を発見してほしい。
- [C S コース] CSコース関連科目について、学修・教育目標達成度判定基準と科目の対応を記載した。
- [スパイラル型教育] 該当科目について、対応育成能力と教育目標を記載した。
- [授 業 計 画] 授業開始から終了までの実施スケジュールおよび予習・復習事項の指示を記載した。半期（前期また 後期）の場合 14回、通年の場合 28回を目安とした。
- [到 達 目 標] 到達目標および達成度の判定基準を記載した。
- [評 価 方 法] 到達目標に対する具体的な評価方法を記載した。
学則上の成績評価基準（学部・大学院共通）は次のとおり。
- | |
|---|
| (合 格) A:100～90点、B: 89～80点、C: 79～70点、D: 69～60点、G : 合格
(不合格) F: 59～ 0点、*: 評価不能 |
|---|
- [成 績 評 価 基 準] 到達目標の達成度による成績の評価基準を示した。
- [教 科 書] 常時使用する教材（配付プリントを含む）を示した。ノートPC必携科目について、その旨を示した。
- [参 考 書] 補助教材を示している。
- [受 講 心 得] 授業を受けるにあたっての学生諸君への要望、予習・復習事項の指示、担当者の専門分野の紹介、また必要な予備知識などを記載した。
- [オフィスアワー] 学生諸君からの質問や相談に応じるために、教員が必ず在室している曜日・時間帯を示した。
- [実 践 的 教 育] 担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目については、その授業概要を記載した。